

平成31年度名古屋大学工学部編入学学生募集要項

1. 出願資格

高等専門学校（日本国内に限る）を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者

2. 募集学科（履修プログラム）及び募集人員

下記の学科別に募集する。

学 科	履修プログラム	募集人員
化 学 生 命 工 学 科		若干名
物 理 工 学 科		若干名
マ テ リ ア ル 工 学 科		若干名
電 気 電 子 情 報 工 学 科		若干名
機 械 ・ 航 空 宇 宙 工 学 科		若干名
エ ネ ル ギ ー 理 工 学 科		若干名
環 境 土 木 ・ 建 築 学 科	環境土木工学プログラム 建築学プログラム	若干名

3. 学科（履修プログラム）の志望方法

志望学科は、一つの学科を選択する。環境土木・建築学科を志望する場合は、どちらかのプログラムを選択する。

4. 願書受付期間及び提出先

(1) 受付期間

平成30年7月2日（月）から同年7月6日（金）まで

なお、郵送に限る。

(2) 提出先

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学工学部内編入学試験事務室 電話 (052) 789-3177, 3975

5. 出願手続

(1) 出願者は、次の提出書類に検定料（(3)を参照）を添え、所定の封筒により必ず書留郵便で提出すること。

(2) 提出書類

- ① 志願票・受験票・写真票：本学所定の用紙を使用すること。
- ② 調 査 書：本学所定の用紙を使用し、作成後は厳封のこと。
- ③ 卒業（見込）証明書：出身学校長が発行したもの。
- ④ 領収証書・領収証書（控）：本学所定の用紙を使用すること。

（注）国費外国人留学生については、提出不要。

代わりに国費留学生であることを証明する書類を提出すること。

- ⑤ 返信用封筒 2 通：本人のあて先を明記した定形封筒（長形3号：23.5cm×12cm）に362円（速達料金を含む）切手を貼ったもの。

なお、官公署、会社、団体等に在職のまま受験しようとする者は、上記の書類の他に所属長又は代表者の受験承諾書（本学所定の用紙を使用）を提出すること。また、官公署在職者は入学後学業に専念させる旨の所属長の承諾書をあわせて提出すること。（様式任意）

(3) 検定料 30,000円

検定料は必ず郵便局の普通為替とし、その指定受取人欄等には、一切記入しないこと。

（注）国費外国人留学生については、検定料は不要。

6. 選抜方法

入学者の選抜は、基礎学力試験（筆記試験）、専門試験（面接）、調査書により行う。

(1) 基礎学力試験

高等専門学校における教科を十分修得してきたかどうかの学力について試験を行う。

○試験科目

- ① 英 語
- ② 数 学
- ③ 物 理
- ④ 化 学

(2) 専門試験

志望学科（履修プログラム）における専門教育を受けるための基礎的能力等について試験を行う。

○試験の内容

各学科毎に，面接を行う。

7. 試験の日時及び試験場

月 日	種 別	試 験 時 間				試 験 場
8月2日(木)	基礎学力 試 験	9:00～11:00	12:20～14:20	15:00～16:00	16:20～17:20	名古屋大学工 学部構内（詳 しくは，別途 通知する。）
		英 語	数 学	物 理	化 学	
8月3日(金)	専門試験	各学科毎に，専門教育を受けるための基礎的能力についての試験を行う。詳細については，受験票送付の際通知する。				

8. 合格者発表

合格者の発表は，8月23日（木）11時，I B電子情報館中棟玄関前に発表するとともに，本人に通知する。

なお，合格者の発表に関する問い合わせには，一切応じない。

9. 追加合格者の決定

入学意志の確認（9月中旬頃）後，募集人員に欠員が生じたときは，合格者の追加を行うことがある。

10. 編入学手続

3月下旬に行う。なお，詳細については，3月上旬に本人あて別途通知する。

11. 個人情報の取扱い

住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学試験、合格者発表、編入学手続及びこれらに付随する事項にのみ利用する。また取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には利用しない。

12. 注意事項

(1) 障害がある者等の出願

障害がある者等で、受験上、修学上特別の配慮を必要とする者は、願書提出前に工学部内編入学試験事務室へ相談すること。(連絡先は、4の(2)を参照)

(2) 出願手続後は、いかなる事情があっても、書類の変更及び検定料の払い戻しはしない。

(3) 受験票は、7月20日(金)頃までに本人あてに郵送する。

(4) 出願資格等に関する照会は、照会者本人の郵便番号、受信場所及び氏名を記入し、82円切手を貼った返信用封筒を同封の上、行うこと。

照 会 先 **名古屋市千種区不老町(郵便番号464-8603)**
名古屋大学工学部内編入学試験事務室

(5) 募集要項は、上記(4)の場所で交付する。

(6) 希望者に対しては、名古屋大学工学部を紹介した冊子「工学への道」を、上記(4)の場所で交付する。

(7) 募集要項及び工学部紹介冊子「工学への道」の郵送を希望する場合は、下記のようにすること。

ア 募集要項及び工学部紹介冊子「工学への道」の郵送を希望する者は、郵便番号、受信場所及び氏名を記入し、250円切手を貼った返信用封筒(角形2号、約33cm×24cm)を同封して“「工学部編入学学生募集要項及び工学への道」請求”と朱書し、請求すること。

イ 冊子「工学への道」のみの郵送を希望する者は、郵便番号、受信場所及び氏名を記入し、205円切手を貼った返信用封筒(角形2号、約33cm×24cm)を同封して“「工学への道」請求”と朱書し、請求すること。

(8) 不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知するので、出願前や受験前は特に注意すること。

◇工学部ホームページ

URL <http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/>

◇携帯向け情報

URL <http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/cellular/bb/index.php>

◇連絡窓口

工学部内編入学試験事務室 電話 (052) 789-3177, 3975

13. 受験者心得

- (1) 学力試験当日は、試験の始まる20分前までに、指定の試験室に到着して監督者の指示を受けること。やむを得ず遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内限り受験を認める。30分を超えて遅刻した場合は、試験場事務室に申し出ること。
- (2) 試験室では受験番号と同じ番号の席につき、受験票を机上の番号札のわきに置くこと。
- (3) 答案作成に必要な黒色鉛筆（シャープペンシルも可、ただし、計算機つきシャープペンシルは除く。）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）以外の用具は机の上に置いてはいけない。ただし、数学の試験では定規（分度器つき定規、三角定規は除く）、コンパスを使用しても差し支えない。
- (4) 受験票は、試験期間中常に所持すること。試験期間後も、編入学手続きの際に必要なから必ず保管しておくこと。
- (5) 試験時間中、携帯電話やPHS等は、電源を切ること。これらを時計として使用することはできない。
- (6) 受験中、発言する必要がある者は、手を上げて合図し、監督者の許可を受けること。
- (7) 試験室において、不都合な行為があったときは、監督者が退室を命ずることがある。
- (8) 試験時間中の退室は原則として認めない。
- (9) 受験者のための宿泊施設のあっせんはしない。
- (10) 試験当日は自動車・バイク等の試験場構内への乗り入れを禁止する。

名古屋大学工学部編入学案内

1. 編入学年次

編入学生の編入学年次は、3年次とする。

2. 卒業の要件

編入学生は、2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ卒業研究の審査に合格しなければならない。

3. 既修得単位の認定等

高等専門学校で修得した単位のうち、本学部の卒業単位の一部として、次のとおり認定する。

- (1) 卒業単位としての認定は、編入学者の履修状況などにより個別に行う。
- (2) 全学教育科目は、卒業を認定するに必要な単位数を修得したものとみなすが、編入学者の高等専門学校での履修状況などから判断して、学科において個別の履修指導を行うことがある。
- (3) 工学部専門系科目は、30単位以内とし、各学科（履修プログラム）毎に別に定める方法により認定する。ただし、高等専門学校で履修したカリキュラムと、編入学後の学科（履修プログラム）のカリキュラムとが大きく異なる場合は、十分な単位振替ができないことがある。

4. 卒業に必要な単位の履修

卒業に必要な単位のうち、上記で認められなかった残りの単位については、各学科（履修プログラム）の定めるところによりそれぞれ履修しなければならない。

5. 名古屋大学大学院工学研究科

学部を卒業した後、専門分野について更に深く学習ならびに研究しようとする者は、選考を経て大学院に進学することができる。修業年限は前期課程が2年、後期課程が3年を標準とする。

6. 授業料等学生納付金

- (1) 入学料 282,000円（予定額）
- (2) 授業料（年額） 535,800円（予定額）

なお、入学時または在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納付金額が適用される。

7. 工学部の概要

(1) 学科等

学 部	学 科	履修プログラム
工学部 7学科	化 学 生 命 工 学 科	
	物 理 工 学 科	
	マ テ リ ア ル 工 学 科	
	電 気 電 子 情 報 工 学 科	
	機 械 ・ 航 空 宇 宙 工 学 科	
	エ ネ ル ギ ー 理 工 学 科	
	環 境 土 木 ・ 建 築 学 科	環境土木工学プログラム 建築学プログラム

大 学 院	専 攻
工学研究科 17専攻	有機・高分子化学専攻
	応用物質化学専攻
	生命分子工学専攻
	応用物理学専攻
	物質科学専攻
	材料デザイン工学専攻
	物質プロセス工学専攻
	化学システム工学専攻
	電気工学専攻
	電子工学専攻
	情報・通信工学専攻
	機械システム工学専攻
	マイクロ・ナノ機械理工学専攻
	航空宇宙工学専攻
	エネルギー理工学専攻
	総合エネルギー工学専攻
	土木工学専攻
(関連研究科) 情報学研究科 環境学研究科 都市環境学専攻	

(2) 学科別入学定員及び学生数

平成30年4月1日現在

学科	区分	入学定員(人)	1年生(人)	2年生(人)	3年生(人)	4年生(人)	計(人)
化 学 生 命 工 学 科		99	102 〈 1〉	103 〈 1〉			205 〈 2〉
物 理 工 学 科		83	85 〈 2〉	87 〈 3〉			172 〈 5〉
マ テ リ ア ル 工 学 科		110	113 〈 1〉	107			220 〈 1〉
電 気 電 子 情 報 工 学 科		118	125 〈 5〉	119 〈 2〉			244 〈 7〉
機 械 ・ 航 空 宇 宙 工 学 科		150	156 〈 3〉	155 〈 1〉			311 〈 4〉
エ ネ ル ギ ー 理 工 学 科		40	44 〈 2〉	38			82 〈 2〉
環 境 土 木 ・ 建 築 学 科		80	81 〈 1〉	80 〈 1〉			161 〈 2〉
合 計		680	706 〈 15〉	689 〈 8〉			1,395 〈 23〉

(注) 〈 〉 内は、外国人を内数で示す。

入学定員は、平成29年度の定員を示す。

3, 4年生は、平成29年度の学科再編により、上記構成とは異なる。

8. 平成30年度 工学部編入学試験志願者・受験者・合格者数等一覧

学 科	志 願 者	受 験 者	合 格 者
化 学 ・ 生 物 工 学 科	7	6	1
物 理 工 学 科	2	2	2
電 気 電 子 ・ 情 報 工 学 科	18	16	6
機 械 ・ 航 空 工 学 科	22	21	4
環 境 土 木 ・ 建 築 学 科	6	6	1
合 計	55	51	14

(注) 平成29年度の学科再編により、平成31年度とは募集内容が異なる。